

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15030

観光情報発信事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	1	ターゲットを絞った積極的な観光情報の発信

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業			
	中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	
事業年度	～	担当課・担当課長・Tel	観光課 澤本 博行 435-1234
事業実施の根拠法令		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	観光客に多彩な観光情報を様々な手法により発信することで観光客の誘致を図る。		和歌山市観光情報の発信、観光パンフレット、ポスター等の製作掲出による観光宣伝、ホームページの運営等を行う。委託の検証については成果物の確認による。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	○観光ポスターの作成・掲出 ○広域観光宣伝の実施	○観光ポスターの作成・掲出 ○広域観光宣伝の実施 (29年度より、市事業から観光協会事業となる。市からは観光協会へ補助金を支出。)	○観光ポスターの作成・掲出 ○広域観光宣伝の実施 (29年度より、市事業から観光協会事業となる。市からは観光協会へ補助金を支出。)	○観光ポスターの作成・掲出 ○観光パンフレットの作成 ○WEBを活用した情報発信	○観光ポスターの作成・掲出 ○観光パンフレットの作成 ○WEBを活用した情報発信

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	3,322	3,030	15,479	15,479	14,277	14,628	19,833	0	19,833	0
伸び率(%)	0%	0%	366%	410.9%	△7.8%	△5.5%	38.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,710	7,710	0	1,277	1,279	2,478	7,033	0	7,033
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	7,710	7,710	0	1,277	1,279	2,478	7,033	0	7,033
国庫支出金	0	0	0	0	7,138	7,314	8,715	0	8,715	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	3,322	3,030	15,479	15,479	7,139	7,314	11,118	0	11,118	0
所要人数(人)	正規職員	0.97	0.97	0.00	0.16	0.16	0.31	0.88	0.00	0.88
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	観光協会事業補助金 14,277千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
パブリシティによる県外広報活動件数		件	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	59	51	58		
			達成度(%)	98%	85%	97.7%	%	%
パンフレット配布数		枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
			実績値	252,000	452,000	393,686		
			達成度(%)	83%	150.7%	131.2%	%	%
年間宿泊者数(暦年)		万人	目標値	85	94	97	101	101
			実績値	90.1	93.9	95		
			達成度(%)	108.5%	99.9%	97.9%	%	%
			目標値	6695	6840	6920	7000	7000
年間観光客数(暦年)		千人	実績値	6492	6511	6686		
			達成度(%)	97%	95.2%	96.6%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/	/	/	/
	現状維持	/	○	/	/
	縮小	/	/	/	/
	廃止	/	/	/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本市が有する多彩な観光の魅力を県外にPRするためには、観光パンフレットや観光ポスター、ウェブによる情報発信が不可欠である。観光客数・宿泊客数は平成26年度に比べ増加しており、今後もターゲットを絞り込む等より効果的な観光PRをおこなうため、内容・手法等を十分に吟味しつつ、引き続き情報発信に取り組んでいく。
見直し・改善内容	ポスター・パンフレットの集約や配布先の見直し、及びインターネット（HP、WEB等）の充実を検討している。